

歴史と地域文化 (History and Local Culture)			担当教員	久保 智康	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-1224	2	2 年後期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 人間学関連科目					
求める学習成果(教育目標)					
豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 □社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 □計画実行能力 ■選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
地域の歴史・文化は、そこに住む人がかたち作っていくものである。と同時に、それは時代の経過とともにより豊かなものになり、次の世代へと受け継がれていくのが望ましい。すでに過去から蓄積された福井の地域文化を歴史の中にたずね、それを受け継ぎ発展させる具体的方策を考える。
授 業 の 到 達 目 標
・他者だけでなく自己も地域の歴史・文化をかたち作る主体であることを理解できる。 ・そのために、地域の人々とのコミュニケーションが積極的に行える。 ・地域の歴史・文化に関する情報収集・探索能力を養成する。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回：「地域」、「文化」とは何か 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間) 第 2 回：地域の文化財を発見し学ぶ～『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』の読み方、使い方～ 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間) 第 3 回：縄文・弥生土器からみる「地域」 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間) 第 4 回：律令時代の土器が示す「中央」と「地方」 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間) 第 5 回：古墳の分布が示す「地域」～「郡」という地域概念の萌芽～ 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間) 第 6 回：土地と人の支配の歴史～徴税・納税の根拠～ 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間) 第 7 回：条里制と東大寺領荘園の痕跡を見つける 事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に关係

しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第8回: 近代、そして平成の市町村合併 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第9回: 琉球、沖縄と越前～本土と沖縄の歴史と宗教～ 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第10回: 福井が「仏教王国」である理由 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第11回: 各宗派の特徴と古代・中世越前における展開 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第12回: 山寺と霊山 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第13回: 越前の神と仏 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第14回: 「念仏王国」、越前 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第15回: 地域に住むこと、離れること 事前学習: 中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。(2時間) 事後学習: 各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。(2時間)	
第16回: 定期試験	
成績評価方法	
定期試験(80%) 平常点(20%) (平常点は授業への参加状況、受講態度等で総合的に判断します。)	
成績評価基準	
地域の歴史・文化に関する過去・現在の事例に関して、自己の問題として認識し、具体的な関わり方を想定できるか。	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)	
2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)	
3) 小レポートに対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)	

- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
☐ 定期試験時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述: _____)
- 5) その他(自由記述: _____ に対するフィードバックについて)
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述: _____)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
 (県立博物館・国立博物館学芸員)
 ・実務経験と授業内容との関連性
 (県立博物館、次いで国立博物館で学芸員として歴史・文化財の調査・研究・展示に携わった経験を有する教員が、地元出身者が大半を占める学生に対して、福井を中心とする歴史と地域文化について解説し、それらを保存・継承が地域発展に資することを考えさせる。)

テキスト、参考図書

テキスト:『文化財からみる 越前市の歴史文化図鑑』(監修)橋本政宣・久保智康 越前市
 ※第2回目の授業時に販売

その他(受講上の注意)

できる限り前列の席で受講すること。画像を使用するが、漫然と見ているだけでなく、要点を極力ノートすること。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

人間と環境A (Human Beings and the Environment A)			担当教員	鳴瀬 碧	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-2130	2	1 年前期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 環境・健康科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実証的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
☐ 自他の理解能力 ☐ コミュニケーション能力 ☒ 情報収集・探索能力 ☒ 社会・職業理解能力 ☐ 役割把握・認識能力 ☐ 計画実行能力 ☒ 選択能力 ☐ 課題解決能力					

授 業 の 内 容
ヒトの健康の保持・増進における食・栄養の重要性を理解し、私たちを取り巻く生活環境や様々な情報、そして食生活の変化が、人体の持つ特性(恒常性)を妨げ、私たちの健康維持にどのような影響を与えているかについて学習する。 これらのことを通して、食品、サプリメント、薬等、普段私たちの身近にあるものに関して、その必要性や効果を正しく理解し、情報に惑わされることなく自らの判断で必要な情報や商品を選択・活用し、個々の健康な生活に役立てることができる。
授 業 の 到 達 目 標
・健康についての基本的な概念や制度、健康の維持・増進のために重要な事項、問題点等について説明できる。 ・世界と日本の食文化や現在の食糧事情について説明ができる。 ・食生活について栄養の重要性や食品の安全性、運動との関わり等について理解し、説明ができる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☒ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他()
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:健康とは何か？ 事前学習:授業前にテキストの第 1 章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:授業で学習した内容を復習し、フードマイレージ・仮想水についてまとめておくこと(2 時間) 第 2 回:世界の食糧事情と未来の地球について考えてみよう(講義・動画視聴) 事前学習:第 1 回授業で学んだことを復習し、世界の食に関する問題についてニュース・情報を収集しておくこと(2 時間) 事後学習:第 1 回、第 2 回の授業内容を基に、日本や世界の食生活が抱える問題点とその改善策などについてレポートを作成し、提出すること(2 時間) 第 3 回:食の歴史 事前学習:授業前にテキストの第 2 章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:授業で学習した内容を復習しておくこと(2 時間) 第 4 回:健康に関する社会制度 事前学習:授業前にテキストの第 3 章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:授業で学習した内容を復習し、健康に関する社会制度についてまとめておくこと(2 時間) 第 5 回:世界の食(講義・DVD 視聴) 事前学習:授業前にテキストの第 4 章を読み、世界の食文化に対する興味を深めておくこと(2 時間) 事後学習:課題レポートの作成(2 時間) 第 6 回:日本の食①(日本の食文化)(講義・DVD 視聴) 事前学習:授業前にテキストの第 4 章を読み、日本の食文化に対する興味を深めておくこと(2 時間) 事後学習:日本の行事食の持つ意味について、レポートを作成し提出すること(2 時間) 第 7 回:日本の食②(日本各地の食文化)(講義・DVD 視聴) 事前学習:授業前に自身の出身地の食文化について調べておくこと(2 時間) 事後学習:福井県の郷土料理について、レポートを作成し提出すること(2 時間) 第 8 回:栄養と健康①(自分の食生活を見つめてみよう)(講義・実習:BDHQ による自身の食事摂取状況の把握) 事前学習:授業前に自身の食生活・生活習慣の振り返りを行うこと(2 時間) 事後学習:授業で学習した内容を復習し、食生活・生活習慣がなぜ大切かをノートにまとめておくこと(2 時間) 第 9 回:栄養と健康②(栄養学の基礎と疾病予防のための食生活) 事前学習:授業前にテキストの第 5 章 p.59~73 を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:授業で学習した内容を復習し、栄養学の基礎項目をノートにまとめておくこと(2 時間) 第 10 回:栄養と健康③(栄養と運動) 事前学習:授業前に栄養と運動に関する気になるニュース・情報を収集しておくこと(2 時間) 事後学習:授業で学習した内容を復習し、健康保持・増進のために必要な栄養と運動についてノートにまとめておくこと

(2 時間)

第 11 回: 食品の安全と健康①(食品の安全と健康被害)

事前学習: 授業前にテキストの第 6 章 p.98~112 を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間)

事後学習: 授業で学習した内容を復習し、食品の安全と健康被害についてノートにまとめておくこと(2 時間)

第 12 回: 食品の安全と健康②(食と健康をめぐる情報)(フィールドワーク)

事前学習: 授業前に食品表示に関するニュース・情報を収集しておくこと(2 時間)

事後学習: 授業で学んだ食品表示方法を、スーパーマーケット等で実際に確認し、レポートにまとめ提出すること(2 時間)

第 13 回: 食品の安全と健康③(サプリメント～情報に惑わされないために～)

事前学習: 授業前にサプリメントに関するニュース・情報を収集しておくこと(2 時間)

事後学習: 授業で学習した内容を復習し、サプリメントについてノートにまとめておくこと(2 時間)

第 14 回: 医薬品とは?

事前学習: 授業前に医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについて調べておくこと(2 時間)

事後学習: 授業で学習した内容を復習し、医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについてノートにまとめておくこと

(2 時間)

第 15 回: 大麻・麻薬・覚せい剤の基礎知識と乱用防止(福井県警との連携授業)

事前学習: 授業前に薬物乱用に関する社会問題について調べておくこと(2 時間)

事後学習: 薬物乱用の危険性について課題レポートの作成(2 時間)

第 16 回: 定期試験

成績評価方法

定期試験(70%)、課題レポート(20%)、平常点(10%)

(平常点は、授業への参加状況・受講態度等を総合して判断する)

成績評価基準

- ・健康の概念、健康の維持・増進について理解できているか。
- ・食の歴史や文化、日本の食糧事情や食を取り巻く環境について理解できているか。
- ・栄養素の機能、食品の安全性、栄養と運動の関わりについて理解できているか。
- ・食品、サプリメント、医薬品、麻薬・覚せい剤について正しく理解できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 ■ 仁大 e ラーニング ■ メール

■ その他(具体的に記述: Teams)

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

3) 小レポートに対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて

□ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

5) その他(自由記述: 質問に対するフィードバックについて)

■ 授業時 ■ 仁大 e ラーニング ■ メール

■ その他(具体的に記述: Teams)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴

(薬剤師・健康運動指導士・ピラティストトレーナー)

・実務経験と授業内容との関連性

(薬剤師としての医療提供施設での実務経験と健康運動指導士・ピラティストトレーナーとしてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、国が展開する健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、サプリメントや健康食品、医薬品の分類やその違い、麻薬・覚せい剤・デザイナーズドラッグに関する基本的知識や危険性などについて解説する。)

テキスト、参考図書

吉田勉監修『私たちの食と健康(第2版)ー食生活の諸相ー』三共出版 2017 年

必要に応じて、講義用資料を出席者に配布する。

その他(受講上の注意)

- ・新聞・ニュース等で報じられる食糧事情、食を取り巻く環境、健康の維持・増進に関する項目について日頃から興味を持つように努めること。
- ・各回の講義内容についてよく復習し、各自が書籍や新聞などから積極的に情報を収集し、自己学習すること。
- ・授業中の不明な点は、授業の前後に教員に質問するなどして理解を深めること。
- ・「自身の健康とは何か」「心身ともに健康に生きていくために重要なこと」等についてよく考えてください。
- ・授業中の私語や携帯電話など、他の学習の妨げとなる場合には退室させるので留意すること。

・課題レポートなどは、提出期限を必ず守ること。提出遅延は減点の対象となる。また、提出期限後は受領しない場合があるので注意すること。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

情報処理演習a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村 順吾	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-2250	2	2 年前期・ 3 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
☐ 自他の理解能力 ☐ コミュニケーション能力 ☒ 情報収集・探索能力 ☒ 社会・職業理解能力 ☐ 役割把握・認識能力 ☐ 計画実行能力 ☐ 選択能力 ☐ 課題解決能力					

授 業 の 内 容
情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得する。
授 業 の 到 達 目 標
一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。 本授業では、情報処理技術者試験の一つである「IT パスポート試験(i パス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。 参考 IT パスポート試験シラバス https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回: 概説、第 1 章 企業と法務(1) 事前学習: 「試験の概要」「1-1-1」「1-1-2」を読み予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 2 回: 第 1 章 企業と法務(2) 事前学習: 「1-1-3」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 3 回: 第 1 章 企業と法務(3) 事前学習: 「1-2」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 4 回: 第 2 章 経営戦略 事前学習: 「2-1」～「2-3」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 5 回: 第 3 章 システム戦略 事前学習: 「3-1」～「3-2」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 6 回: 第 4 章 開発技術 事前学習: 「4-1」～「4-2」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 7 回: 第 5 章 プロジェクトマネジメント、第 6 章 サービスマネジメント 事前学習: 「5-1」～「6-2」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 8 回: 第 7 章 基礎理論(1) 事前学習: 「7-1」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 9 回: 第 7 章 基礎理論(2) 事前学習: 「7-2」を読み予習する(2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 10 回: 第 8 章 コンピュータシステム 事前学習: 「8-1」～「8-4」を読み予習する(2 時間)

事後学習:本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 11 回:第 9 章 技術要素(1) 事前学習:「9-1」～「9-3」を読み予習する(2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 12 回:第 9 章 技術要素(2) 事前学習:「9-4」を読み予習する(2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 13 回:第 9 章 技術要素(3) 事前学習:「9-5-1」～「9-5-3-4」を読み予習する(2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 14 回:第 9 章 技術要素(4) 事前学習:「9-5-3-5」～「9-5-3-6」を読み予習する(2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 15 回:第 10 章 表計算、CBT 試験対策 事前学習:「10-1」～「10-3」「CBT 試験対策」を読み予習する(2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲について復習、課題提出 (2 時間) 第 16 回:定期試験
成績評価方法
定期試験(80%) 演習課題(10%) 平常点(10%) (平常点は、授業への参加状況・受講態度等)
成績評価基準
IT パスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (インターネット関連企業勤務) ・実務経験と授業内容との関連性 (IT 関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるIT技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。)
テキスト、参考図書
テキスト 『令和 4-5 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集』 FOM 出版 2021 年 参考図書 『令和 04 年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生の IT パスポート教室』 技術評論社 2021 年 『【令和 4 年度】 いちばんやさしい IT パスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集』 SB クリエイティブ 2022 年
その他(受講上の注意)
テキスト必携必須
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村 順吾	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-2251	2	2 年後期・3 年後期	演 習		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 情報科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
☐ 自他の理解能力 ☐ コミュニケーション能力 ☒ 情報収集・探索能力 ☒ 社会・職業理解能力 ☐ 役割把握・認識能力 ☐ 計画実行能力 ☐ 選択能力 ☐ 課題解決能力					

授 業 の 内 容
情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得します。
授 業 の 到 達 目 標
一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。 本授業では、情報処理技術者試験の一つである「IT パスポート試験(i パス)」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。 参考 IT パスポート試験シラバス https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
テキストを順次進めるほか、前回課題の解説を行う。 第 1 回:授業概説、第 1 章 企業と法務(1) 事前学習:Lesson01～8 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 2 回:第 1 章 企業と法務(2)、課題解説 事前学習:Lesson09～16 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 3 回:第 2 章 経営戦略(1)、課題解説 事前学習:Lesson17～24 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 4 回:第 2 章 経営戦略(2)、課題解説 事前学習:Lesson25～32 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 5 回:第 3 章 システム戦略、課題解説 事前学習:Lesson33～39 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 6 回:第 4 章 開発技術、課題解説 事前学習:Lesson40～47 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 7 回:第 5 章 プロジェクトマネジメント、第 6 章 サービスマネジメント、課題解説 事前学習:Lesson48～55 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 8 回:第 7 章 基礎理論、課題解説 事前学習:Lesson56～63 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 9 回:第 8 章 コンピュータシステム (1)、課題解説 事前学習:Lesson64～71 を読み、予習する (2 時間) 事後学習:本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 10 回:第 8 章 コンピュータシステム (2)、課題解説

事前学習: Lesson72～80 を読み、予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 11 回: 第 9 章 技術要素 (1)、課題解説 事前学習: Lesson81～88 を読み、予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 12 回: 第 9 章 技術要素 (2)、課題解説 事前学習: Lesson89～97 を読み、予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 13 回: 第 9 章 技術要素 (3)、課題解説 事前学習: Lesson98～105 を読み、予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 14 回: 第 9 章 技術要素 (4)、課題解説 事前学習: Lesson106～112 を読み、予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 15 回: 第 10 章 疑似言語、課題解説 事前学習: Lesson113～116 を読み、予習する (2 時間) 事後学習: 本日採り上げた範囲を復習、課題提出 (2 時間) 第 16 回: 定期試験
成績評価方法
定期試験(70%) 演習課題(20%) 平常点(10%) (平常点は、授業への参加状況・受講態度等)
成績評価基準
IT パスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述: _____) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述: _____) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述: _____) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて ☐ 定期試験時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述: _____) 5) その他(自由記述: _____ に対するフィードバックについて) ☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述: _____)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (インターネット関連企業勤務) ・実務経験と授業内容との関連性 (IT 関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会における IT 技術の役割を事例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。)
テキスト、参考図書
テキスト 『令和 04-05 年 IT パスポート 試験によく出る問題集』技術評論社 2022 年 参考図書 『令和 4-5 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集』FOM 出版 2021 年
その他(受講上の注意)
テキスト必携必須(第 1 回目より必要) 前期の「情報処理演習 a」を受講している者を前提としている。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

キャリア・デザイン I (Career Design I)			担当教員	植月 百枝	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-2162	2	1 年前期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実知的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
変化の激しい時代、これが正しいというキャリアモデルはない。知人・友人などのネットワークや、自ら考え学び自分は将来どのような仕事をしたいのか、どうありたいのかを常に探求していくことが重要である。 この授業では、キャリア形成と仕事へのアプローチのために必要なことは何かを自ら考え、挨拶・電話対応・ビジネス文書作成などの実践を通して、ビジネス社会での基本マナーとルールを身につけていく。
授 業 の 到 達 目 標
・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得する。 ・社会人のマナーやルールを理解する。 ・日常の挨拶、言葉づかいを通し他者へのリスペクトや円滑なコミュニケーションを実践する。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回：学生時代に学ぶこと、考えること 事前学習：大学時代にやるべきことは沢山ある。自分のなすべきこと、やりたいことを考えまとめておくこと(2 時間) 事後学修：自身の未来に思いをはせ、具体的に挑戦したいことをまとめ、ノートに記入することを課す(2 時間) 第 2 回：コミュニケーションの基本 事前学習：授業前にテキストの第 1 編第 1 章を読み、社会が求める期待される社会人について考えておくこと(2 時間) 事後学修：良好なコミュニケーションのために気をつけることをまとめ、ノートに記入することを課す(2 時間) 第 3 回：ビジネスマナーの基本① 事前学習：授業前にテキストの第 1 編第 3 章を熟読し、なぜ社会人になるとビジネスマナーが必要なのか考えておくこと(2 時間) 事後学修：ビジネスマナーの心と形について具体的にまとめておくこと(2 時間) 第 4 回：ビジネスマナーの基本② 事前学習：ビジネスマナーの心をあらわす形の具体例は身近にある。今一度自分の周りのマナーについて考えをまとめておくこと(2 時間) 事後学修：お辞儀や挨拶を実践しよう。マスクをしてのコミュニケーションのとり方を考え実践すること(2 時間) 第 5 回：指示の受け方と、報告・連絡・相談 事前学習：テキスト第 1 編第 4 章を熟読し、理解を深めること(2 時間) 事後学修：本日の授業の内容をまとめ、報告の実践をしてみよう(2 時間) 第 6 回：話し方と書き方のポイント 事前学習：授業前にテキスト、第 1 編第 5 章を熟読し理解を深めること(2 時間) 事後学修：書き方には 3 種類ある。書き方について学んだことをまとめ、ノートに記入することを課す(2 時間) 第 7 回：ビジネス文書、ビジネスメール① 事前学習：授業前にテキストの第 2 編第 2 章を熟読し理解を深めること(2 時間) 事後学修：ビジネス文書の役割、特徴、種類などをノートにまとめておくこと(2 時間) 第 8 回：ビジネス文書、ビジネスメール② 事前学習：仕事のメールとプライベートなメールの違いを改めて考え、同じ内容で、ビジネス用、プライベート用を作成してみること(2 時間) 事後学修：身のまわりの文書(書類、手紙、はがき)を点検し、書き方を確認すること。復習課題を課す(2 時間) 第 9 回：電話対応の基本と重要性 事前学習：授業前にテキストの第 2 編第 3 章を熟読し理解を深めること。電話対応に関することをまとめておくこと(2 時間) 事後学修：プリントを熟読し、声に出して電話対応の仕方を練習すること。復習課題を課す(2 時間) 第 10 回：敬語の種類と必要性

事前学習:授業前にテキストの第 1 編第 5 章を読み理解を深めること。敬語の使い方の最近の傾向について調べること(2 時間) 事後学修:敬語についての復習問題の課題を課す(2 時間) 第 11 回: 情報収集と効果的な活用法 事前学習:授業前にテキストの第 2 編第 5 章を熟読し、さまざまな情報源について調べ理解を深めること(2 時間) 事後学修:情報源の活用について復習課題を課す(2 時間) 第 12 回:新聞の読み方・コンプライアンス 事前学習:テキスト第 2 編第 5 章を熟読し、日ごろから新聞を読んでおくこと(2 時間) 事後学修:コンプライアンスに抵触する事例を調べてワードで提出することを課す(2 時間) 第 13 回:面談・訪問の基本マナーと名刺交換 事前学習:テキスト第 1 編第 6 章を熟読すること(2 時間) 事後学修:訪問から面談への流れをまとめ、実際に名刺を作成し名刺交換の練習をすること(2 時間) 第 14 回:仕事への取り組み方 事前学習:テキスト第 1 編第 1 章を改めて熟読すること。仕事への取り組みは大学での学習への取り組みともいえる。どのように学習のやり方に取り入れられるか考えてみること(2 時間) 事後学修:自身の学習を、効率的に、合理的に進めるためには具体的にどのようにすればよいかまとめておくこと(2 時間) 第 15 回:会社を取り巻く環境と経済の基本 事前学習:第 2 編第 6 章を熟読し、巻末のビジネス用語にも目を通しておくこと(2 時間) 事後学修:新型コロナウイルスにより 2020 年を起点に経済環境の変化が加速し、人々の考え方・意識も大きく変化した。その中で求められる人材はどのような人物か、そして「人に敬意を払う」ということはどういうことかを考え続けて欲しい(2 時間) 第 16 回:定期試験	
成績評価方法	
定期試験(70%)、平常点(30%) *平常点は授業への参加状況、受講態度、課題の提出回数、内容などを総合して判断する。	
成績評価基準	
・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得しているか。 ・社会人のマナーやルールを理解しているか。 ・日常の挨拶、言葉づかい、態度など他者へのリスペクトを実践しているか。	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■授業時 □仁大 eラーニング □メール □ その他(具体的に記述:) 2)事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3)小レポートに対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて ■ 定期試験時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて) □ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)	
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)	
・経歴 (フリーアナウンサー) ・実務経験と授業内容との関連性 (民間放送局のアナウンサー(社員)として永年勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや、コミュニケーションの実践方法、ビジネスマナー等について講義する。)	
テキスト、参考図書	
『2023 年版ビジネス能力検定ジョブパス 3 級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター	
その他(受講上の注意)	
上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。	
オフィスアワー	
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。	

キャリア・デザインⅡ (Career DesignⅡ)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-2261	2	2 年後期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 修学基礎・キャリア形成科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実証的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■ 自他の理解能力 ■ コミュニケーション能力 ■ 情報収集・探索能力 ■ 社会・職業理解能力 ■ 役割把握・認識能力 □ 計画実行能力 □ 選択能力 □ 課題解決能力					

授 業 の 内 容
社会の中での役割を主体的に果たしながら、「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できる機会の提供を通じて、今後の大学生活の目標を設定する。
授 業 の 到 達 目 標
・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができる。 ・「はたらく」とことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回：キャリア・デザインとは 事前学習：初回の授業ではキャリア・デザインの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：授業で課されたライフストーリーについて、レポートにまとめておくこと。(2 時間) 第 2 回：ライフストーリーⅠ 事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。(2 時間) 事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 3 回：ライフストーリーⅡ 事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。(2 時間) 事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 4 回：ライフストーリーⅢ 事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。(2 時間) 事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 5 回：ライフストーリーⅣ(グループワーク・発表) 事前学習：各自調査したライフストーリーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 6 回：「はたらく」とは 事前学習：「はたらく」ことの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 7 回：職業理解Ⅰ 事前学習：金融業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) ※金融業界は予定です(変更する場合があります)。 第 8 回：職業理解Ⅱ 事前学習：マスコミ業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) ※マスコミ業界は予定です(変更する場合があります)。 第 9 回：職業理解Ⅲ 事前学習：流通・小売業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。(2 時間)

事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) ※流通・小売業界は予定です(変更する場合があります)。
第10回：ライフ・デザイン 事前学習：ライフ・デザインについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第10回：ライフ・デザイン 事前学習：ライフ・デザインについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第11回：豊かさについて考える 事前学習：豊かさについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第12回：インターンシップ 事前学習：インターンシップの心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第13回：就職活動Ⅰ 事前学習：就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第14回：就職活動Ⅱ 事前学習：就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第15回：まとめ 事前学習：「はたらく」とことと大学生活での「学び」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
成績評価方法
課題に対する活動内容・提出物・レポート(70%)、平常点(30%) ※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの
成績評価基準
・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができるか。 ・「はたらく」とことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ☒ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述：) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ☒ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述：) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ☒ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述：) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて ☐ 定期試験時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述：) 5) その他(自由記述：リアクションペーパーに対するフィードバックについて) ☒ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述：)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)) ・実務経験と授業内容との関連性 (企業(業種：情報通信、社員数：約 26 万人)の管理職(主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。)
テキスト、参考図書
必用に応じて、授業中に提示します。
その他(受講上の注意)
「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

フィールドワーク演習(インターンシップ) (Fieldwork Practice - Internship)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
HS-2361	2	3 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部学部共通科目 修学基礎・フィールドワーク科目					
求める学習成果(教育目標)					
大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実証的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 ■計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容	
本授業は、主として「福井県インターンシッププログラム」(3 年生対象)に沿って、民間企業や各種団体、自治体等における就業体験(原則として 5 日間)を夏期休業中に行う。インターンシップ参加者(福井県外での参加者含む)は、事前の本学教員および主催者によるガイダンスや面接等を受講し、事後の報告会等に参加することを義務づけ、就業意識の高揚をねらう。	
授 業 の 到 達 目 標	
民間企業や各種団体・自治体等で就業体験(実習)を行い、以後の学習・研究のための動機付けを得ること、また社会人・職業人となるための自己認識、自己啓発につなげる。	
アクティブ・ラーニング	
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述:)	
授業計画及び授業外の学修方法	
■準備・事前研修期間 4 月上旬:本学ガイダンスへの参加(学内実施) 4 月上旬:インターンシップ志望動機書の提出(学内実施) 4 月下旬:面接(学内実施) ※結果発表:5 月上旬 4 月下旬:合同ガイダンスへの参加(学外実施) 5 月中旬:エントリーシートの提出(学内実施) 6 月上旬:本学事前研修会への参加(学内実施) 6 月下旬:就業体験先企業・団体の通知(学内実施) 7 月中旬:合同事前研修会への参加(学外実施) ■就業体験期間 7 月上旬～:就業体験先企業・団体と事前調整 8 月上旬～9 月下旬:就業体験 ■事後研修期間 10 月下旬:合同事後研修会への参加(学外実施)(グループワークおよび発表) 事後学習:授業で課された「インターンシップで学んだこと」について、レポートにまとめておくこと。 11 月下旬:レポートの提出(学内実施) ※テーマ:インターンシップで学んだこと ※授業外の基本的な学習(60 時間)方法として、就業体験先企業・団体の組織概要や事業内容について 調べたり、あらかじめ疑問点を考えておくなどし、問題意識をもって就業体験に参加してください(予習)。また、就業体験、研修の内容や気づいたことなどを整理・確認するなどし、次回プログラムに備えてください(復習)。	
成 績 評 価 方 法	
就業体験先企業・団体の評価(35%)、レポート(30%)、平常点(35%) 平常点は事前研修(ガイダンス・面接を含む)の参加状況、参加意欲(志望動機)等を総合して判断する。	
成 績 評 価 基 準	
インターンシップ先の研修において、期待される行動・態度がとれているか。 就業体験をとおして、今後自己に必要な学習・研究について明確化することができているか。 民間企業や各種団体等での就業体験によって、自己の就業意識を向上することができたか。	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
☐ 定期試験時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)

企業(業種:情報通信、社員数:約 26 万人)の管理職(主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等)経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り(反省・成果の確認)の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。

テキスト、参考図書

使用しない。

その他(受講上の注意)

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。

- ・受講希望者には、「志望動機書」の提出および面接を行い、就業意欲を認めたうえで実施する。
- ・授業計画は、協力団体などの都合により、前後したり変更する場合がある。
- ・第 1 回キャリアガイダンスにおいてスケジュールなどについて説明するので、必ず出席すること。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

臨床心理学概論Ⅰ (Introduction to Clinical PsychologyⅠ)			担当教員	稲木 康一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-G-2221	2	2 年前期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
臨床心理学の概説。 臨床心理学のなりたちと、臨床心理学の代表的な理論について学ぶ。
授 業 の 到 達 目 標
臨床心理学のなりたちと代表的な理論について理解し、その概要を説明することができる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☒ その他(eラーニング、リアクションペーパー)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:オリエンテーション(リアクションペーパー) 事前学習:シラバスを熟読すること。(2 時間) 事後学習:テキストを購入して、「巻頭言」「はじめに」を読むこと。(2 時間) 第 2 回:臨床心理学の歴史(日本) 事前学習:テキスト第 1 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 3 回:臨床心理学の歴史(世界) 事前学習:テキスト第 2 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 4 回:臨床心理学の定義 (グループワーク) 事前学習:テキスト第 3 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:What is Clinical Psychology ?(テキスト P.33)を翻訳すること。また、復習テストの準備をすること。(2 時間) 第 5 回:臨床心理学の理論①(精神分析1)(復習テスト①) 事前学習:テキスト第 4 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 6 回:臨床心理学の理論②(精神分析2)(復習テスト①のフィードバック) 事前学習:テキスト第 4 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 7 回:臨床心理学の理論③(分析心理学1) 事前学習:テキスト第 5 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 8 回:臨床心理学の理論④(分析心理学2) 事前学習:テキスト第 5 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 9 回:臨床心理学の理論⑤(行動論・認知論1) 事前学習:テキスト第 6 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 10 回:臨床心理学の理論⑥(行動論・認知論2) 事前学習:テキスト第 6 章を読むこと。また、復習テストの準備をすること。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 第 11 回:臨床心理学の理論⑦(人間性心理学1)(復習テスト②) 事前学習:テキスト第 7 章を読むこと。(2 時間) 事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間)

第 12 回:臨床心理学の理論⑧(人間性心理学2)(復習テスト②のフィードバック)

事前学習:テキスト第 7 章を読むこと。(2 時間)

事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間)

第 13 回:臨床心理学の理論⑨(コミュニティ・アプローチ)

事前学習:テキスト第 10 章を読むこと。(2 時間)

事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間)

第 14 回:臨床心理学の理論⑩(統合的アプローチ)

事前学習:テキスト第 13 章を読むこと。(2 時間)

事後学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間)

第 15 回:「臨床心理学」の各領域に関するまとめと定期試験対策

事前学習:eラーニングを活用して、職能団体の HP を閲覧すること。(2 時間)

事後学習:eラーニングを活用して、職能団体の HP を閲覧すること。(2 時間)

第 16 回:定期試験

成績評価方法

定期試験(60%)、復習テスト(20%)、平常点(20%)

定期試験は指定持込用紙の持込を可とします。

復習テスト(授業時の課題に相当します)の内容は授業中に指示します。

平常点は受講態度(eラーニングの閲覧状況を含む)やリアクション・ペーパーの提出状況などで総合的に判断します。

成績評価基準

臨床心理学のなりたちと代表的な理論に関して、重要な用語や概念を理解し説明することができる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

☒ 授業時 ☒ 仁大 eラーニング ☐ メール

☐ その他(具体的に記述:)

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

☐ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール

☐ その他(具体的に記述:)

3) 小レポートに対するフィードバックについて

☐ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール

☐ その他(具体的に記述:)

4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて

☐ 定期試験時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール

☐ その他(具体的に記述:)

5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて

☐ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール

☐ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴

(公認心理師, 臨床心理士)

・実務経験と授業内容との関連性

(公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。)

テキスト、参考図書

「臨床心理学概論」 野島一彦・岡村達也(編) 遠見書房 2,400 円＋税 ISBN:978-4-86616-053-5

その他(受講上の注意)

eラーニングを活用します。

eラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

臨床心理学概論Ⅱ (Introduction to Clinical Psychology Ⅱ)			担当教員	稲木 康一郎	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-G-2222	2	2 年後期	講義		選択
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 □コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
各領域における心理療法(心理学的支援法)の心理学的臨床実践事例を学習する。 また、臨床実践における留意点を理解する。
授 業 の 到 達 目 標
代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応を概説できる。 地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、プライバシーへの配慮、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について概説できる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☒ その他(eラーニング、リアクションペーパー)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:オリエンテーション・復習テスト①(リアクションペーパー) 事前学習:「臨床心理学Ⅰ(「臨床心理学概論Ⅰ)」」の内容を復習すること。(2 時間) 事後学習:同上。(2 時間) 第 2 回:精神分析療法(代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界) (eラーニング・復習テスト①のフィードバック) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 3 回:行動療法(代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 4 回:来談者中心療法(代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 5 回:受理面接: ラポール・主訴・経過の聴き方(良好な人間関係を築くコミュニケーション) 援助構造・面接記録・守秘義務(プライバシーへの配慮) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:復習テスト②の準備をすること(2 時間) 第 6 回:医療①:抑うつに対する認知行動療法・復習テスト② 事前学習:復習テスト②の準備をすること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 7 回:医療②:抑うつに対する認知行動療法(プライバシーへの配慮と多職種連携) (復習テスト②のフィードバック) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 8 回:産業①:バーンアウトに対する評価と介入 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 9 回:産業②:バーンアウトに対する評価と介入(論理情動行動療法にもとづく心の健康教育) 事前学習:日常生活において、バーンアウトの事例を探すこと。(2 時間) 事後学習:日常生活において、不合理な信念の事例を探すこと。(2 時間) 第 10 回:教育①:スクールカウンセリングの実際(良好な人間関係を築くコミュニケーション)・復習テスト③

事前学習:復習テスト③の準備をすること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 11 回:教育②:スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー(要支援者の関係者への支援) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 12 回:教育③:教室で使える心理アセスメント(心理アセスメント適用と倫理) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。(2 時間) 第 13 回:福祉①:ぜんそく予防の応用行動分析(地域支援の意義) 事前学習:eラーニングを閲覧すること。(2 時間) 事後学習:定期試験の準備を始めること。(2 時間) 第 14 回:福祉②:ぜんそく予防の応用行動分析(心の健康教育) 事前学習:定期試験の準備をすること。(2 時間) 事後学習:定期試験の準備をすること。(2 時間) 第 15 回:「臨床心理学」の各領域の心理学的臨床実践に関するまとめと定期試験対策 事前学習:定期試験の準備をすること。(2 時間) 事後学習:定期試験の準備をすること。(2 時間) 第 16 回:定期試験
成績評価方法
定期試験(60%)、復習テスト(30%)、平常点(10%) 定期試験は「指定持込用紙」の持込を可とします。 第 1 回目の冒頭に、「臨床心理学 I (臨床心理学概論 I)」の内容について復習テストを行います。 復習テスト(授業時の課題に相当します)の内容は授業中に指示します。 平常点は受講態度(eラーニングの閲覧状況を含む)、リアクションペーパーの提出状況などで総合的に評価します。
成績評価基準
講義で取り上げた心理療法について説明できる。 地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について理解できる。 また、プライバシーへの配慮と関係者との情報共有のかねあいについて意見を持つ。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述: _____) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述: _____) 3) 小レポートに対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述: _____) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述: _____) 5) その他(自由記述: _____ に対するフィードバックについて) □ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述: _____)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (公認心理師, 臨床心理士) ・実務経験と授業内容との関連性 (公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。)
テキスト、参考図書
スライド資料や参考資料をeラーニングに掲載します。
その他(受講上の注意)
eラーニングを活用します。 eラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

心理面接演習 (Training Course of Clinical Interviewing)			担当教員	稲木 康一郎、坂井 祐円	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-F-2312	2	3 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法及基礎的な知識・技能・技術					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■ 自他の理解能力 ■ コミュニケーション能力 ■ 情報収集・探索能力 □ 社会・職業理解能力 ■ 役割把握・認識能力 □ 計画実行能力 □ 選択能力 □ 課題解決能力					

授 業 の 内 容
心理学分野で用いられる面接法(個人アプローチ・グループアプローチ)について学ぶ。 具体的には、心理面接法に関する基礎知識についての講義を行い、演習によって学生が体験的に学習する。
授 業 の 到 達 目 標
①心理面接法(個人アプローチ・グループアプローチ)の基本的な理論や技法を理解する。 ②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につける。 ③積極的な演習への参加を通して、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につける。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☒ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☒ その他(ロールプレイ)
授業計画及び授業外の学修方法
2 つのグループ(A・B)が交替で 2 つの演習(個人アプローチ・グループアプローチ)を行う。 全体の授業計画は以下のとおり。 第 1 回 (全体授業)オリエンテーション・グループ分け【稲木・坂井】 第 2 回～第 7 回 (グループ別)A:個人アプローチ【坂井】、 B:グループアプローチ【稲木】 第 8 回 (全体授業)中間まとめと課題【坂井・稲木】 第 9 回～第 14 回(グループ別)A:グループアプローチ【稲木】、B:個人アプローチ【坂井】 第 15 回 (全体授業)演習全体のまとめと課題【稲木・坂井】 なお、演習の進行状況など、場合によっては、スケジュールが変更されることもあります。 以下に、A グループの授業計画を示す。 第 1 回 全体授業 オリエンテーション・グループ分け 事前学習:シラバスを熟読すること。(2 時間) 事後学習:講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 2 回 講義 傾聴カウンセリングの理念とスキルについて 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。 心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習:「ふり返り用紙」(講義の内容をまとめる・一人でできる傾聴ワークの感想)を提出すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 3 回 演習 傾聴のスキル ― 受容・くり返し・明確化(ロールプレイ) 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。 心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習:演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。(2 時間) 第 4 回 演習 クライアントの語り(ロールプレイ) 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。 心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習:演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。(2 時間) 第 5 回 演習 カウンセラーからの質問(ロールプレイ) 事前学習:自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。 心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習:演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。(2 時間)

第 6 回 演習 沈黙とリード・対話と沈黙（ロールプレイ）

事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2 時間）

第 7 回 演習 対話分析・フリートーク（ロールプレイ）

事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2 時間）

第 8 回 全体授業 中間まとめと課題

事前学習：課題の準備をすること。（2 時間）

事後学習：課題の復習をすること。（2 時間）

第 9 回 講義 グループアプローチと多様なエクササイズについて

事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、

eラーニングを利用して担当教員に質問すること。（2 時間）

第 10 回 演習 アイスブレイキング（グループワーク）

事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2 時間）

第 11 回 演習 心理劇（グループワーク）

事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2 時間）

第 12 回 演習 KJ法（グループワーク）

事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2 時間）

第 13 回 演習 ワールドカフェ（討議・ディスカッション）

事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：演習の体験について、受講生どうして話し合うこと。（2 時間）

第 14 回 講義 SC による心理教育

事前学習：新聞やTV、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。

心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2 時間）

事後学習：課題の準備をすること。（2 時間）

第 15 回 全体授業 演習全体のまとめと課題

事前学習：課題の準備をすること。（2 時間）

事後学習：課題の復習をすること。（2 時間）

成績評価方法

授業への積極的な参加（40%）、および、課題（60%）で評価する。

授業への積極的な参加は、出席・態度・発言・ワークシートの内容などを総合的に評価する。

また、演習形式の授業であるため、授業への欠席や遅刻などは厳重に減点を行う。

成績評価基準

①心理面接法の基礎的かつ実践的な知識が身についているか。

②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につけているか。

③演習に積極的に参加し、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■授業時 ■仁大 eラーニング □ メール

□ その他（具体的に記述： ）

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール

□ その他（具体的に記述： ）

3) 小レポートに対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール

□ その他（具体的に記述： ）

4) 定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて

□ 定期試験時 □ 仁大 eラーニング □ メール

□ その他（具体的に記述： ）

5) その他(自由記述: に対するフィードバックについて)

☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール

☐ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴

(公認心理師, 臨床心理士)

・実務経験と授業内容との関連性

(公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。)

テキスト、参考図書

テキストはオリエンテーション時に示す。

その他(受講上の注意)

2つのグループに分かれ、交替して、個人アプローチとグループアプローチの2つの演習を行う。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

臨床心理学演習 (Training Course of Clinical Psychology)			担当教員	渡辺 克徳、坂井 祐円	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-API-2355	2	3 年後期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部心理学科専門科目 応用科目 臨床系					
求める学習成果(教育目標)					
教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。 人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 □社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 □計画実行能力 ■選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
2クラスに分かれ前後半 7 回ごとに、いずれかの教員の指導のもと、ペアまたは少人数のグループで、いろいろな対話や表現を体験する。これらの体験を通して、自己理解・他者理解を促すとともに、傾聴などカウンセリング等の対人援助の基本的態度を身に付ける。
授 業 の 到 達 目 標
カウンセリングにおける話の聴き方の基本を理解する。 自分自身のコミュニケーションの特徴について理解する。 ものの捉え方や考え方、コミュニケーションの仕方などの多様性について考える。 他者と円滑にコミュニケーションできる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回： オリエンテーション 【担当： 渡辺、坂井 】 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 2 回： 自己理解のためのグループ体験① 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 3 回： 自己理解のためのグループ体験② 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 4 回： 自己理解のためのグループ体験③ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 5 回： 自己理解のためのグループ体験④ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 6 回： 自己理解のためのグループ体験⑤ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。 事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間) 事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)
第 7 回： 自己理解のためのグループ体験⑥ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間)

事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 8 回： 自己理解のためのグループ体験⑦【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。(2 時間)

事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 9 回： 箱庭療法① 講義 箱庭療法とイメージ【担当： 坂井 】

事前学習：箱庭療法について積極的に興味をもち、関連する図書を読んでみる。(2 時間)

事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。(2 時間)

第 10 回：箱庭療法② 演習 グループによる箱庭作り【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。(2 時間)

事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2 時間)

第 11 回：箱庭療法③ 演習 箱庭を作る・見守る・解釈する【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：どのような箱庭を作りたいのか、各自でイメージしてくる。(2 時間)

事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2 時間)

第 12 回：箱庭療法④ 演習 夢と箱庭【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：自分が見た夢について思い出し、ストーリーをまとめてくる。(2 時間)

事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2 時間)

第 13 回：サイコドラマ① 講義 サイコドラマとカタルシス【担当： 坂井 】

事前学習：サイコドラマについて積極的に興味をもち、関連する図書を読んでみる。(2 時間)

事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。(2 時間)

第 14 回：サイコドラマ② 演習 サイコドラマの 3 つの基本技法と役割選択、練習【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。(2 時間)

事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2 時間)

第 15 回：サイコドラマ③ 演習 サイコドラマの実演とシェアリング【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。

事前学習：サイコドラマでの自分の役割をイメージして、技法を意識して練習してくる。(2 時間)

事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。(2 時間)

※第 1 回の際にクラス分けを行う。第 2 回～第 8 回(前半)と第 9 回～第 15 回(後半)でそれぞれに異なる担当教員のもとで演習を行う。渡辺(言語的アプローチ)、坂井(表現芸術アプローチ)

成績評価方法

授業中に課す課題(60%)と授業への参加態度(40%)で評価する。

授業への参加態度については、演習活動への積極性や授業中の発言の内容などから総合的に評価する。体験型学習ですので出席を重視し、欠席は厳しく減点する。

成績評価基準

カウンセリングにおける話の聴き方の基本について説明できるか。また、それを模擬的に実践できるか。

自分自身の考え方やコミュニケーションなどの特徴について説明できるか。

考え方やコミュニケーションの仕方の多様性について考えられるか。

他者と円滑にコミュニケーションが行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述：)

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述：)

3) 小レポートに対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述：)

4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて

□ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述：)

5) その他(自由記述：)に対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述：)

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴

(公認心理師，臨床心理士)

・実務経験と授業内容との関連性

(公認心理師の教員が、教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得するために演習を行う。)

テキスト、参考図書

授業時に資料を配付する。

そのほか、参考書については、授業時に随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

健康・医療心理学 (Health and Medical Psychology)			担当教員	渡辺 克徳
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2223	2	2 年前期	講義	選択
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門				
求める学習成果(教育目標)				
健康・医療心理学の基礎的かつ一般的な知識を習得する。				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
☐ 自他の理解能力 ☐ コミュニケーション能力 ☒ 情報収集・探索能力 ☒ 社会・職業理解能力 ☒ 役割把握・認識能力 ☐ 計画実行能力 ☐ 選択能力 ☐ 課題解決能力				

授 業 の 内 容
公認心理師をはじめ心理職が保健医療領域で行う業務について理解し必要な知識を習得する。
授 業 の 到 達 目 標
健康・医療心理学の基本を説明することができる。 保健医療領域における心理職の専門性とその業務について説明することができる。 チーム医療の一員として心理職に期待されている事柄について説明することができる。 公認心理師が身につけておくべき事柄について説明することができる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:健康心理学 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 2 回:健康心理学におけるアセスメントと支援 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 3 回:ストレスマネジメント 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 4 回:各種の心理支援法 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 小レポート課題(健康心理学のまとめ) 第 5 回:医療心理学 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 6 回:医療心理学におけるアセスメントと支援 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 7 回:精神科、児童精神科 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間) 事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 8 回:院内型独立型心理室 事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2 時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第9回:心療内科

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第10回:小児科

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第11回:緩和医療

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第12回:産業保健

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第13回:地域保健活動の実践

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第14回:災害心理学

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第15回:多職種協働と医療連携

事前学習:授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと(2時間)

事後学習:テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第16回:定期試験

成績評価方法

小レポート+最終試験(85%)平常点(15%)

(平常点は、授業への参加状況・理解度チェック Q and A で評価します。)

成績評価基準

公認心理師が身につけておくべき健康心理学と医療心理学について説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

■ その他(具体的に記述: Moodle の機能を用いていつでも疑問・質問に対応)

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

3) 小レポートに対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて

□ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて

□ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴

(公認心理師, 臨床心理士)

・実務経験と授業内容との関連性

(公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。)

テキスト、参考図書

宮脇稔・大野 太郎・藤本 豊・松野 俊夫『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社, 2018

ISBN-13: 978-4263265772

その他（受講上の注意）

講義は公認心理師養成カリキュラムに対応しています。日本心理学会が公開している大学カリキュラム・標準シラバス等も参考に学習してください。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

感情・人格心理学 (Psychology of Emotion and Personality)			担当教員	森 俊之	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-G-2125	2	1 年後期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学専門					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 □社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
感情および性格に関する諸理論や研究を概観し、感情や性格を理解するための枠組みについて学ぶ。その上で、自己や他者の感情や性格をどのように理解し、対人関係の問題にどのように対処したらよいかを考える。
授 業 の 到 達 目 標
・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できる。 ・感情や性格に関する心理学研究について説明できる。 ・自分の感情や性格について心理学的に考察し評価できる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:感情とは 事後学習:授業で指定されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べるとともに、授業で理解したことも含め自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(4 時間) 第 2 回:感情の生理過程 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間) 第 3 回:感情の起源と発達 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間) 第 4 回:感情が認知や行動にもたらす影響 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間) 第 5 回:感情の障害 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間) 第 6 回:性格とは 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間) 第 7 回:性格の類型論 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間) 第 8 回:性格の特性論 事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間) 事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。(2 時間)

第 9 回:脳と性格

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 10 回:性格の遺伝

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 11 回:ライフサイクルと性格

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 12 回:家族関係・対人関係・文化と性格

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 13 回:健康と性格

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 14 回:性格の病気:人格障害

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 15 回:性格の測定

事前学習:前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく(2 時間)

事後学習:事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。
(2 時間)

第 16 回:期末試験

※各回(初回を除く)とも、授業の前半に前回の事後学習の成果をグループで紹介しあう時間を設ける。(グループワーク)

成績評価方法

学期末に実施する筆記試験(80%)と授業中に指示する課題・授業時の態度等(20%)をもとに評価する。

成績評価基準

- ・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できるか。
- ・感情や性格に関する心理学研究について説明できるか。
- ・自分の感情や性格について心理学的に評価できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
☒ 定期試験時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

- ・経歴
(公認心理師, 臨床心理士)
- ・実務経験と授業内容との関連性
(公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。)

テキスト、参 考 図 書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

－

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

心理的アセスメント (Psychological Assessment)			担当教員	森 俊之
講義コード	単 位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-F-2209	2	2 年後期	演習	選択
<科目区分> 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎				
求める学習成果(教育目標)				
心理学の研究方法与基礎的な知識・技能・技術				
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)				
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 □社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力				

授 業 の 内 容
心理的アセスメント(観察法、面接法、検査法)の基礎について、講義と演習を交えながら学ぶ。心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について学んだ後、具体的な演習を交えながら、観察法、面接法、検査法について学ぶ。実習した内容については、実習結果をまとめるレポート提出が課せられ、レポートの書き方についても、学ぶ。
授 業 の 到 達 目 標
・心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について説明できる。 ・心理的アセスメントの主要な方法について、それぞれの方法の意義や特徴、限界等について説明できるとともに、基礎的なアセスメント方法の一部を実施できる。 ・心理的アセスメントの結果の記録や報告ができる。 ・自分自身の性格や話し方の特徴などを多角的に分析し、説明できる。
アクティブ・ラーニング
□課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ■グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) □発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他(具体的に記述:)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:心理的アセスメントの目的、意義、倫理 事後学習:「日常におけるアセスメント」というレポートをまとめる(4 時間) 第 2 回:観察法の理解①(講義) 事後学習:授業で学んだ観察法のポイントをまとめる(4 時間) 第 3 回:観察法の理解②(実習) 事後学習:授業中の作業の続きを行う(4 時間) 第 4 回:観察法の理解③(実習) 事後学習:授業で体験した観察実習の結果をレポートにまとめる(4 時間) 第 5 回:面接法の理解①(講義) 事後学習:授業で学んだ面接法のポイントをまとめる(4 時間) 第 6 回:面接法の理解②(実習) 事後学習:授業中の作業の続きを行う(4 時間) 第 7 回:面接法の理解③(実習) 事後学習:授業で体験した面接実習の結果をレポートにまとめる(4 時間) 第 8 回:心理検査法(講義) 事後学習:心理検査の妥当性・信頼性についてレポートをまとめる(4 時間) 第 9 回:知能検査の理解①(講義) 事後学習:授業で学んだ検査を表にまとめる(4 時間) 第 10 回:知能検査の理解②(実習) 事後学習:授業で体験した知能検査の結果をレポートにまとめる(4 時間) 第 11 回:質問紙人格検査の理解①(講義) 事後学習:授業で学んだ検査を表にまとめる(4 時間) 第 12 回:質問紙人格検査の理解②(実習) 事後学習:授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる(4 時間) 第 13 回:投射法その他の心理検査の理解①(講義) 事後学習:授業で学んだ検査を表にまとめる(4 時間) 第 14 回:投射法その他の心理検査の理解②(実習) 事後学習:授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる(4 時間) 第 15 回:テストバッテリーと総合的理解(講義) 事後学習:授業で学んだテストバッテリーのポイントをまとめる(4 時間)

第 16 回: 期末試験

※各回(最終回を除く)とも授業の最初に、前回の授業後の事後学習の内容についての振り返りを行う。

成績評価方法

授業後に課す課題をレポート(60%)として提出してもらうとともに、学期末に筆記試験(40%)を行い、両者により評価する。実習を伴うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成績評価基準

- ・さまざまな心理検査の種類を理解し、それぞれの検査の効用と限界について説明できるか。
- ・課題として取り上げた心理検査について、実施手順や分析手順を理解し、一通り実施できるか。
- ・自分自身の性格について多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
☒ 定期試験時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

- ・経歴
(公認心理師, 臨床心理士)
- ・実務経験と授業内容との関連性
(公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。)

テキスト、参考図書

<テキスト>とくに指定しない。
 <参考図書>津川律子・遠藤裕乃編「心理的アセスメント(公認心理師の基礎と実践 14)」(遠見書房、2019 年発行)。そのほか、適宜、授業内で紹介する。

その他(受講上の注意)

- ・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
- ・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
- ・心理検査の学習者・実施者の倫理(授業時に説明)を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

心理検査演習 (Training Course of Psychological Testing)			担当教員	吉水 ちひろ、坂井 祐円、青井 利哉	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
PS-F-2310	2	3 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部心理学科専門科目 基幹科目 心理学基礎					
求める学習成果(教育目標)					
心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
この授業では、心理検査の背景理論や実施方法について学習した後、実際に検査者と被検者の双方を体験する。これを通して、心理検査を正しく理解するだけでなく、その効用と限界の認識、さらに倫理性をわきまえた態度を身につけていく。また、一定の決められた実施法や解釈の仕方などを習得する中で、新たな自分への気づきや他者理解へと繋げることを目的とする。
授 業 の 到 達 目 標
・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できる。 ・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できる。 ・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができる。 ・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☐ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☒ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
この授業では、さまざまな心理検査について体験的学習を行うためにグループ別にて演習を行う。以下のように4週ごとに異なる検査について学ぶ。 第 1 回：オリエンテーション 事前学習：心理的アセスメントを振り返り、基礎的な知識の復習をしておく。(2時間) 事後学習：テキストを参照し、質問項目をまとめておく。(2時間) 第 2 回：アセスメントにおける心理検査法の役割・レポートの書き方についての説明 事前学習：授業のテーマについてテキストを見直し、自分なりの意見をまとめておく。(2時間) 事後学習：関連することを参考文献等で調べ、ポイントを整理しまとめておく。(2時間) 第 3 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)①実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 4 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)②実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 5 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)③実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 6 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)④実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 7 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)①実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 8 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)②実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 9 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)③実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間) 第 10 回：質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS-IV)④実習 事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間) 事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)

第 11 回:質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)①実習

事前学習:テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)

事後学習:授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)

第 12 回:質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)②実習

事前学習:テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)

事後学習:授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)

第 13 回:質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)③実習

事前学習:テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)

事後学習:授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)

第 14 回:質問紙法検査(STAI、MAS、CMI)・投映法検査(風景構成法、SCT)・知能検査(WAIS- IV)④実習

事前学習:テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)

事後学習:授業で課された課題について、レポートにまとめておく。(2時間)

第 15 回:演習の振り返りとまとめ

事前学習:これまでの演習を復習しておく。(2時間)

事後学習:授業の到達目標に達しているかを確認する。(2時間)

※各検査の担当者は[]に示す通りである。質問紙法検査[青井]、投影法検査[吉水]、知能検査[坂井]

予習:テキストおよび参考文献を用いて各回で取り上げる心理検査について予習し、基本的な事柄について理解しておくこと。

復習:授業で体験した心理検査を通して、考えたことや感じたことをまとめておくこと。また、授業時間だけでは作業が終わらない場合は、残った作業を遂行して次の授業に臨むこと。

成績評価方法

授業への参加状況や受講態度(30%)、検査ごとに作成する課題レポート(60%)、演習全体を通した小レポート(10%)などから総合的に評価する。心理検査を用いた演習を行うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成績評価基準

- ・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できるか。
- ・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できるか。
- ・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができるか。
- ・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

- 1) 授業時の課題に対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 3) 小レポートに対するフィードバックについて
☒ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 4) レポート試験を含む)に対するフィードバックについて
☐ 定期試験時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)
- 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて
☐ 授業時 ☐ 仁大 e ラーニング ☐ メール
☐ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
 (公認心理師、臨床心理士)
 ・実務経験と授業内容との関連性
 (公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。)

テキスト、参考図書

各検査毎に必要な資料を配布したり、参考図書を指示する。

その他(受講上の注意)

- ・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
- ・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
- ・心理検査の学習者・実施者の倫理(授業時に説明)を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

デジタル・デザイン (Digital Design)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-F-2109	2	1 年前期	演習		必修
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎 B 群(スキル)					
求める学習成果(教育目標)					
言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
□自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 ■計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
視覚的なコミュニケーションのための表現方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。グラフィックデザインの基本ルールの理解と平行して、コンピュータ／スマートフォンのアプリケーションを用いたグラフィックデザインの技法を習得していく。
授 業 の 到 達 目 標
社会においてデザインが必要とされている理由を理解する。デザインの基本ルール(色、文字、レイアウト)について理解する。コンピュータを用いたグラフィックデザインの技法を習得する。デザインを駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。
アクティブ・ラーニング
■課題解決型学習(PBL) □討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ■グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ■実習、フィールドワーク □実験、実技 □その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回 デザインとは(実習) 事前学習(2 時間)教科書の目次を読み、教科書中の図案を閲覧する 事後学習(2 時間)身の回りのデザインを観察し写真を撮る 第 2 回 デザインのワークフロー(実習) 事前学習(2 時間)教科書 7～20 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 3 回 レイアウトの基本ルール(実習) 事前学習(2 時間)教科書 21～68 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 4 回 写真を使う(実習) 事前学習(2 時間)教科書 69～86 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 5 回 色を使う(実習) 事前学習(2 時間)教科書 87～104 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 6 回 文字と書体(実習) 事前学習(2 時間)教科書 105～124 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 7 回 文字を組む(実習) 事前学習(2 時間)教科書 125～140 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 8 回 かたちをつくる(実習) 事前学習(2 時間)教科書 141～151 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 9 回 図表をつくる(実習) 事前学習(2 時間)教科書 152～160 ページを読む 事後学習(2 時間)デザインの原則と制作ツールの使い方を復習する 第 10 回 写真を撮る(グループワーク、実習) 事前学習(2 時間)撮影技法を予習する 事後学習(2 時間)撮影技法を復習する 第 11 回 調べたことをもとにデザインする(グループワーク、実習) 事前学習(2 時間)テーマについて調査する

事後学習(2時間)期日までに課題を提出する 第12回 期末課題制作①リサーチ、スケッチ(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)テーマについて調査する、アイデアを練る 事後学習(2時間)調査したことやスケッチをまとめる 第13回 期末課題制作②制作(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)デザイン案を準備する 事後学習(2時間)デザイン案を修正する 第14回 期末課題制作③ブラッシュアップ(課題解決型学習、グループワーク) 事前学習(2時間)デザインを仕上げる 事後学習(2時間)グループでレビューを行い、作品の完成度を高める 第15回 期末課題④プレゼンテーション(課題解決型学習、発表) 事前学習(2時間)データをEラーニングより提出する、プレゼンテーションを準備する 事後学習(2時間)作品の完成度を高め、Eラーニングに提出する その他、1～15回目を通して授業外で学習してほしいこと ・日頃から日常に潜むデザインを発見する。 ・自主的に手を動かしてデザインをする。 ・疑問や知りたいことがあれば、Teams やオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。
成績評価方法
期末課題作品(40%) 授業毎の作品(30%) 授業毎の小テスト・レポート(30%)
成績評価基準
・デザインの基本ルールが理解できているか。 ・ツールを適切に使用できているか。 ・デザインの基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (WEB デザイナー) ・実務経験と授業内容との関連性 (WEB デザイナーとしての業務経験を有する教員が、グラフィックデザインの技法について演習を行う。)
テキスト、参考図書
テキスト: 坂本 伸二「デザイン入門教室」SB クリエイティブ, 2015 年 参考図書: 授業内で紹介する
その他(受講上の注意)
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

メディア・デザイン I a (Media Design I a)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-AOO-2258	2	2 年後期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
□自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 ■計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
映像表現を用いたコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。メディア(テレビ、ウェブ等)や目的(PV、CM 等)に応じた映像表現の基本ルールの理解と平行して、コンピュータ/スマートフォンのアプリケーションを用いた映像表現の技法を習得していく。
授 業 の 到 達 目 標
現在において動画コンテンツが有効とされている理由を理解する。映像表現の基本ルール・手法について理解する。コンピュータを用いた映像表現の技法を習得する。映像表現を駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。
アクティブ・ラーニング
☒ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☒ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回 映像制作の流れ(実習) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)制作者の視点で映像をみるようにする 第 2 回 撮影技法① カメラの構え方、カメラワーク、安全や周囲への配慮(実習、グループワーク) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ技法を試す 第 3 回 撮影技法② 音の収録(実習、グループワーク) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ技法を試す 第 4 回 編集技法① カット編集、トランジション(実習) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ技法を試す 第 5 回 編集技法② サウンドの挿入(実習) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ技法を試す 第 6 回 編集技法③ 静止画やテロップの挿入、インサート編集、色補正(実習) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ技法を試す 第 7 回 企画① 企画を立てる、絵コンテをかく(実習) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ手法を試す 第 8 回 企画② 映像表現による地域貢献(実習) 事前学習(2 時間)紹介された映像作品をみる 事後学習(2 時間)学んだ手法を試す 第 9 回 企画③ 伝わるトーク術(実習、グループワーク) 事前学習(2 時間)教科書を読む 事後学習(2 時間)学んだ技法を試す 第 10 回 練習課題制作① 企画、撮影(実習、グループワーク) 事前学習(2 時間)企画を練り、絵コンテにまとめる 事後学習(2 時間)撮影作業を完了する 第 11 回 練習課題制作② 編集(実習) 事前学習(2 時間)編集技法を復習する

事後学習(2時間)編集作業を完了する 第12回 練習課題制作③ プレゼンテーション(グループワーク、発表) 事前学習(2時間)プレゼンテーションを準備をする 事後学習(2時間)グループでレビューを行い、作品の完成度を高める 第13回 期末課題制作① 企画・撮影(課題解決型学習、フィールドワーク) 事前学習(2時間)企画を練り、絵コンテにまとめる 事後学習(2時間)撮影作業を完了する 第14回 期末課題制作② 編集(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)編集技法を復習する 事後学習(2時間)編集作業を完了する 第15回 期末課題制作③ プレゼンテーション(課題解決型学習、発表) 事前学習(2時間)プレゼンテーションを準備をする 事後学習(2時間)作品の完成度を高め、Eラーニングに提出する その他、1～15回目を通して授業外で学習してほしいこと ・制作者の視点で日常流れている動画をみる。 ・日常生活で見落としがちな地域の魅力を再発見する。 ・自主的に手を動かして制作をする。 ・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。
成績評価方法
期末課題作品(40%) 授業毎の作品(30%) 授業毎の小テスト・レポート(30%)
成績評価基準
・映像表現の基本ルールが理解できているか。 ・ツールを適切に使用できているか。 ・映像表現の基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (WEB デザイナー) ・実務経験と授業内容との関連性 (WEB デザイナーとしての業務経験を有する教員が、映像表現の技法について演習を行う。)
テキスト、参考図書
テキスト:Rec Plus「センスがUPする 動画編集の教科書」ビー・エヌ・エヌ、2023年 参考図書:授業内で紹介する
その他(受講上の注意)
撮影は必要に応じて授業時間外に実施することがある。 授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

メディア・デザイン I b (Media Design I b)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-AOO-2359	2	3 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 ビジネスコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
□自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 ■計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
ウェブメディアにおけるコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。ウェブメディアの理解と共に、ウェブサイト制作の技法 (HTML/CSS によるページ制作、スマートフォン最適化) を習得していく。
授 業 の 到 達 目 標
現在におけるウェブメディアの役割を理解する。ウェブサイトの構築手法および技法を習得する。ウェブを介してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。
アクティブ・ラーニング
☒ 課題解決型学習 (PBL) ☐ 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク (Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom 等) ☒ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他 (具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回 ウェブ概論、制作の流れ (実習) 事前学習 (2 時間) 普段の生活でよく利用するウェブサイトを 10 個ピックアップする 事後学習 (2 時間) 制作の流れを覚える 第 2 回 制作ツールの準備と基本性能 (グループワーク、実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 15～55 ページを読む、利用するツールのアカウントを作成する 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 3 回 サムネイルの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 56～72 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 4 回 ポートフォリオサイトのデザイン① 基本スタイルの登録 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 75～98 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 5 回 ポートフォリオサイトのデザイン② ナビゲーションの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 99～106 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 6 回 ポートフォリオサイトのデザイン③ ファーストビューの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 107～112 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 7 回 ポートフォリオサイトのデザイン④ セクションの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 113～146 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 8 回 ポートフォリオサイトのデザイン⑤ フッターの作成、全体調整 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 147～150 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 9 回 中間課題：シングルページの Web サイト (グループワーク、発表) 事前学習 (2 時間) 作品データを完成し、E ラーニングに提出する 事後学習 (2 時間) グループでレビューを行い、作品の完成度を高める 第 10 回 コーポレートサイトのデザイン① フレームの作成と配置 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 151～164 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 11 回 コーポレートサイトのデザイン② ワイヤフレームの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 165～166 ページを読む

事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第12回 コーポレートサイトのデザイン③ デザインの作成(実習) 事前学習(2時間)教科書167～174ページを読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第13回 期末課題制作① コンテンツの作成(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)コンテンツを準備する 事後学習(2時間)コンテンツの作成を完了する 第14回 期末課題制作② ワイヤフレームの作成(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)ワイヤーフレームを準備する 事後学習(2時間)ワイヤーフレームの作成を完了する 第15回 期末課題制作③ プレゼンテーション(課題解決型学習、発表) 事前学習(2時間)プレゼンテーションを準備をする 事後学習(2時間)作品の完成度を高め、Eラーニングに提出する その他、1～15回目を通して授業外で学習してほしいこと ・「UI/UX デザイン」の視点で日常利用しているウェブサイトやアプリを見て使う。 ・自主的に手を動かして制作をする。 ※制作ツールは無料で利用可能 ・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。
成績評価方法
期末課題作品(40%) 授業毎の作品(30%) 授業毎の小テスト・レポート(30%)
成績評価基準
・ウェブの基本が理解できているか。 ・ツールを適切に使用できているか。 ・ウェブの基本を理解した上で、課題作品の制作ができているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (WEB デザイナー) ・実務経験と授業内容との関連性 (WEB デザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEB サイト制作の技法について演習を行う。)
テキスト、参考図書
テキスト:阿部 文人ほか「これから始める Figma Web・UI デザイン入門」マイナビ出版, 2022 年 参考図書:授業内で紹介する
その他(受講上の注意)
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

マルチメディア演習 (Practice in Multimedia)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-AOO-2359	2	3 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 企画・マネジメントコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
□自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 ■計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
ウェブメディアにおけるコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。ウェブメディアの理解と共に、ウェブサイト制作の技法 (HTML/CSS によるページ制作、スマートフォン最適化) を習得していく。
授 業 の 到 達 目 標
現在におけるウェブメディアの役割を理解する。ウェブサイトの構築手法および技法を習得する。ウェブを介してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。
アクティブ・ラーニング
☒ 課題解決型学習 (PBL) ☐ 討議 (ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク (Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom 等) ☒ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他 (具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回 ウェブ概論、制作の流れ (実習) 事前学習 (2 時間) 普段の生活でよく利用するウェブサイトを 10 個ピックアップする 事後学習 (2 時間) 制作の流れを覚える 第 2 回 制作ツールの準備と基本性能 (グループワーク、実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 15～55 ページを読む、利用するツールのアカウントを作成する 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 3 回 サムネイルの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 56～72 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 4 回 ポートフォリオサイトのデザイン① 基本スタイルの登録 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 75～98 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 5 回 ポートフォリオサイトのデザイン② ナビゲーションの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 99～106 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 6 回 ポートフォリオサイトのデザイン③ ファーストビューの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 107～112 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 7 回 ポートフォリオサイトのデザイン④ セクションの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 113～146 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 8 回 ポートフォリオサイトのデザイン⑤ フッターの作成、全体調整 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 147～150 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 9 回 中間課題：シングルページの Web サイト (グループワーク、発表) 事前学習 (2 時間) 作品データを完成し、E ラーニングに提出する 事後学習 (2 時間) グループでレビューを行い、作品の完成度を高める 第 10 回 コーポレートサイトのデザイン① フレームの作成と配置 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 151～164 ページを読む 事後学習 (2 時間) 学んだ技法を試す 第 11 回 コーポレートサイトのデザイン② ワイヤフレームの作成 (実習) 事前学習 (2 時間) 教科書 165～166 ページを読む

事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第12回 コーポレートサイトのデザイン③ デザインの作成(実習) 事前学習(2時間)教科書167～174ページを読む 事後学習(2時間)学んだ技法を試す 第13回 期末課題制作① コンテンツの作成(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)コンテンツを準備する 事後学習(2時間)コンテンツの作成を完了する 第14回 期末課題制作② ワイヤフレームの作成(課題解決型学習、実習) 事前学習(2時間)ワイヤフレームを準備する 事後学習(2時間)ワイヤフレームの作成を完了する 第15回 期末課題制作③ プレゼンテーション(課題解決型学習、発表) 事前学習(2時間)プレゼンテーションを準備をする 事後学習(2時間)作品の完成度を高め、Eラーニングに提出する その他、1～15回目を通して授業外で学習してほしいこと ・「UI/UX デザイン」の視点で日常利用しているウェブサイトやアプリを見て使う。 ・自主的に手を動かして制作をする。 ※制作ツールは無料で利用可能 ・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。
成績評価方法
期末課題作品(40%) 授業毎の作品(30%) 授業毎の小テスト・レポート(30%)
成績評価基準
・ウェブの基本が理解できているか。 ・ツールを適切に使用できているか。 ・ウェブの基本を理解した上で、課題作品の制作ができているか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ■ 授業時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 ■ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 eラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (WEB デザイナー) ・実務経験と授業内容との関連性 (WEB デザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEB サイト制作の技法について演習を行う。)
テキスト、参考図書
テキスト:阿部 文人ほか「これから始める Figma Web・UI デザイン入門」マイナビ出版, 2022 年 参考図書:授業内で紹介する
その他(受講上の注意)
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

デザインマネジメント論 (Design Management)			担当教員	吉村 正照	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-AOO-2461	2	4 年前期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 企画・マネジメントコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
☐ 自他の理解能力 ☒ コミュニケーション能力 ☒ 情報収集・探索能力 ☒ 社会・職業理解能力 ☐ 役割把握・認識能力 ☒ 計画実行能力 ☐ 選択能力 ☒ 課題解決能力					

授 業 の 内 容
図解やアイデアスケッチの技法を学び、それらを活用して「デザイン思考」をもとにした課題解決法を実践的に探求する。
授 業 の 到 達 目 標
アイデアやコンテンツをわかりやすく伝える方法を理解し、そのための手法および技法を習得する。さらにスケッチによりアイデアを拡張していく技法を実践と通して習得する。
アクティブ・ラーニング
☒ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☒ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回 オリエンテーション、ビジュアルシンキングの基本(実習) 事前学習(2 時間)教科書の目次を読み、教科書の 1 章を読む 事後学習(2 時間)身の回りを観察して、ビジュアルシンキングをやってみる 第 2 回 伝わる絵の描き方①(実習) 事前学習(2 時間)教科書の 2-1～2-4 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 2-1～2-4 章を試す 第 3 回 伝わる絵の描き方②(実習) 事前学習(2 時間)教科書の 2-5～2-7 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 2-5～2-7 章を試す 第 4 回 伝わる言葉の書き方①(実習) 事前学習(2 時間)教科書の 3-1～3-2 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 3-1～3-2 章を試す 第 5 回 伝わる言葉の書き方②(実習) 事前学習(2 時間)教科書の 3-3～3-4 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 3-3～3-4 章を試す 第 6 回 伝わる図の作り方(実習) 事前学習(2 時間)教科書の 4 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 4 章を試す 第 7 回 伝わるデザイン(実習) 事前学習(2 時間)教科書の 5 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 5 章を試す 第 8 回 グラフィックレコーディングの実践①(グループワーク) 事前学習(2 時間)教科書の 6-1～6-4 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 6-1～6-4 章を試す 第 9 回 グラフィックレコーディングの実践②(グループワーク) 事前学習(2 時間)教科書の 6-5～6-8 章を読む 事後学習(2 時間)教科書の 6-5～6-8 章を試す 第 10 回 アイデアを図解する① アイデアスケッチの方法論(実習) 事前学習(2 時間)配布資料を読む 事後学習(2 時間)「アイデアスケッチ」を試す 第 11 回 アイデアを図解する② アイデアスケッチの準備(実習) 事前学習(2 時間)配布資料を読む

事後学習(2時間)「アイデアスケッチ」により企画をたてる 第12回 アイデアを図解する③ アイデアスケッチで企画をたてる(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読む 事後学習(2時間)「アイデアスケッチ」により企画をより良くする 第13回 期末課題① プロジェクトの準備(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読む 事後学習(2時間)プロジェクトの準備を完了する 第14回 期末課題② プロジェクトの実践(実習) 事前学習(2時間)配布資料を読む 事後学習(2時間)プロジェクトを実施する 第15回 期末課題③ プロジェクトの報告(発表) 事前学習(2時間)プレゼンテーションの発表内容を準備する 事後学習(2時間)他者の発表についてレビューをする
成績評価方法
期末課題作品(40%) 授業毎の作品(30%) 授業毎の小テスト・レポート(30%)
成績評価基準
・図解やアイデアスケッチの基本が理解できているか。 ・図解やアイデアスケッチの技法を用いて、企画をより良くできたか。 ・図解やアイデアスケッチの技法を用いて、プロジェクトをわかりやすくプレゼンテーションできたか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ☒ 授業時 ☒ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ☒ 授業時 ☒ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ☒ 授業時 ☒ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて ☐ 定期試験時 ☒ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて ☐ 授業時 ☐ 仁大 eラーニング ☐ メール ☐ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (WEB デザイナー) ・実務経験と授業内容との関連性 (WEB デザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEB サイト制作の技法について演習を行う。)
テキスト、参考図書
テキスト:久保田 麻美「はじめてのグラフィックレコーディング」翔泳社、2020 年 参考図書:授業内で紹介する
その他(受講上の注意)
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

ビジネスコミュニケーション研究 (Business Communication)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-ABC- 2319	2	3 年後期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。 異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。 コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 □情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 □課題解決能力					

授 業 の 内 容
情報通信媒体を介したバーチャルコミュニケーションが著しく拡大している今日において、ますます対面のコミュニケーション能力の重要性が問われる時代となっている。授業では、実社会において自身の個性や資質をより活かせるようにするための実践的なコミュニケーション能力の向上を狙いとする。
授 業 の 到 達 目 標
・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができる。 ・他者とのコミュニケーションが円滑に行える。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☐ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
授業では、組織や職場における基本的なコミュニケーションパターンを学ぶとともに、コミュニケーション力を高めるためのアプローチ方法について考えていく。 第 1 回：組織とは 事前学習：「組織」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 2 回：組織内・部門間のコミュニケーションⅠ 事前学習：部門間のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 3 回：組織内・部門間のコミュニケーションⅡ 事前学習：前回に続き部門間のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 4 回：組織内・部門間のコミュニケーションⅢ 事前学習：前回に続き部門間のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 5 回：組織と現場力 事前学習：組織と現場力について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 6 回：上司と部下のコミュニケーションⅠ(グループワーク) 事前学習：上司と部下のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 7 回：上司と部下のコミュニケーションⅠ(グループワーク・発表) 事前学習：前回に続き上司と部下のコミュニケーションの留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 8 回：会議のコミュニケーションⅠ 事前学習：会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 9 回：会議のコミュニケーションⅡ(グループワーク) 事前学習：前回に続き会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 10 回:文書のコミュニケーションⅠ(グループワーク)

事前学習:効果的な議事録・メールについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 11 回:文書のコミュニケーションⅡ(グループワーク・発表)

事前学習:前回に続き効果的な議事録・メールについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 12 回:就活のコミュニケーションⅠ(グループワーク)

事前学習:自己理解と自己表現について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 13 回:就活のコミュニケーションⅡ

事前学習:前回に続き自己理解と自己表現について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 14 回:就活のコミュニケーションⅢ

事前学習:「ES」作成及び「面接」の留意点について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

第 15 回:まとめ

事前学習:授業全体の振り返りおよび確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間)

成績評価方法

課題に対する活動内容・提出物・レポート(70%)、平常点(30%)

※平常点:授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成績評価基準

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができるか。

・他者とのコミュニケーションが円滑に行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1) 授業時の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

3) 小レポートに対するフィードバックについて

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて

□ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

5) その他(自由記述:リアクションペーパーに対するフィードバックについて)

■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール

□ その他(具体的に記述:)

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴

(元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当))

・実務経験と授業内容との関連性

(企業(業種:情報通信、社員数:約 26 万人)の管理職(主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)経験のある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。)

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

・「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

・「組織と情報(前:企業と情報)」(3 年前期)を履修していることが望ましい。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

企業と情報 (Information and Organization)			担当教員	升田 法継	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-OOC-2390	2	3 年前期	講義		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 情報社会コース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
□自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 ■役割把握・認識能力					
□計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
授業では、企業と(企業にとって人・モノ・金に次ぐ第 4 の経営資源といわれる)情報の関わりについて考察し、情報化社会における企業活動の概況や課題について理解を深めることを狙いとする。
授 業 の 到 達 目 標
・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができる。 ・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができる。
アクティブ・ラーニング
☐ 課題解決型学習(PBL) ☒ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回：企業と経済活動 事前学習：企業と経済活動との関係性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 2 回：組織文化と企業理念Ⅰ 事前学習：組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 3 回：組織文化と企業理念Ⅱ 事前学習：前回に続き組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 4 回：組織文化と企業理念Ⅲ 事前学習：前回に続き組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 5 回：企業形態とガバナンス 事前学習：企業形態とガバナンスについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 6 回：マーケティングⅠ 事前学習：マーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 7 回：マーケティングⅡ(グループワーク) 事前学習：前回に続きマーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 8 回：マーケティングⅢ(発表) 事前学習：前回続きマーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 9 回：経営戦略(グループワーク) 事前学習：経営戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 10 回：事業戦略Ⅰ(グループワーク) 事前学習：事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間) 事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2 時間) 第 11 回：事業戦略Ⅱ(グループワーク) 事前学習：前回に続き事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2 時間)

事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第12回:ビジネスモデル(グループワーク) 事前学習:ビジネスモデルについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第13回:企業と採用・人事情報Ⅰ(ディスカッション) 事前学習:企業と採用・人事について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第14回:企業と採用・人事情報Ⅱ 事前学習:前回に続き企業と採用・人事について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。(2時間) 事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間) 第15回:まとめ 事前学習:授業全体の振り返りおよび確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。(2時間) 事後学習:わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
成績評価方法
課題に対する活動内容・提出物・レポート(70%) 平常点(30%) (平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。)
成績評価基準
・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができるか。 ・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて □ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:リアクションペーパーに対するフィードバックについて) ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (元情報通信会社管理職(人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等の業務を担当)) ・実務経験と授業内容との関連性 (企業(業種:情報通信、社員数:約26万人)の管理職(主な担当業務:人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等)経験のある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。)
テキスト、参考図書
必要に応じて、授業中に提示します。
その他(受講上の注意)
「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、前後したり変更する場合があります。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

ライティング技法 (Writing Strategies)			担当教員	野尻 昌明	
講義コード	単 位	配当年次	開講形態		選択区分
CO-AOO-2256	2	2 年後期	演習		選択
＜科目区分＞ 人間学部コミュニケーション学科専門科目 応用科目 企画・マネジメントコース					
求める学習成果(教育目標)					
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。					
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)					
■自他の理解能力 ■コミュニケーション能力 ■情報収集・探索能力 ■社会・職業理解能力 □役割把握・認識能力 □計画実行能力 □選択能力 ■課題解決能力					

授 業 の 内 容
メディアにおけるコピーライティングの違いを検証。各メディア特性を確認しながらメディア(ライティング)を制作し効果を学ぶ。 コピーライティングを通じて、最終的に就職・仕事に直結する企画提案書(プレゼンテーション)を制作できる執筆能力を身につける。
授 業 の 到 達 目 標
プロポーザル方式に勝つ企画提案書のライティング能力を身につける。 地域社会、企業、組織に貢献する文章構成能力を身につける。
アクティブ・ラーニング
☒ 課題解決型学習(PBL) ☒ 討議(ディスカッション、ディベート、Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ グループワーク(Moodle でのチャット・フォーラム、Teams、Zoom 等) ☒ 発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom 等) ☐ 実習、フィールドワーク ☐ 実験、実技 ☐ その他(具体的に記述：)
授業計画及び授業外の学修方法
第 1 回:コミュニケーションとコピーライティング 事前学習:コミュニケーションツールとしてのコピー(広告用の言葉・フレーズ・惹句)について理解しておくこと。(2 時間) 事後学習:授業中に示された各種コピーについてのメモをレポート化しておくこと。(2 時間) 第 2 回:コピーライティング概論(新聞・TV・ポスター・web・各種) 事前学習:授業前に各媒体から興味のあるクリエイティブ作品を選択、記録しておく。(2 時間) 事後学習:授業後、媒体特性を理解し選択したクリエイティブ作品についての分析を行う。(2 時間) 第 3 回:コピーライティングの制作実践 事前学習:前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。(2 時間) 事後学習:授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2 時間) 第 4 回:作品の評価・ミーティング 事前学習:選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。(2 時間) 事後学習:評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。(2 時間) 第 5 回:コンセプトの必要性(クライアント設定～制作～効果) 事前学習:予告されたクライアントについてのコンセプト(企業・地域・広報等)を準備しておく。(2 時間) 事後学習:学習したブラッシュアップ法によって、コンセプトを再度確認する。(2 時間) 第 6 回:設定クライアント(製品)①におけるミーティング(グループワーク) 事前学習:設定クライアントについての予備知識を用意しておく。(2 時間) 事後学習:設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。(2 時間) 第 7 回:制作実践(課題1/コンセプトライティング) 事前学習:設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。(2 時間) 事後学習:設定したコンセプトが正しいかどうかを、クライアント確認とともに精査する。(2 時間) 第 8 回:制作実践(課題1/キャッチコピーライティング) 事前学習:前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。(2 時間) 事後学習:授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2 時間) 第 9 回:制作実践(課題1/ボディコピーライティング) 事前学習:前回与えられた課題について、複数のボディコピーと説明を用意しておく。(2 時間) 事後学習:授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2 時間) 第 10 回:制作実践(課題1/ライティング発表) 事前学習:選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。(2 時間) 事後学習:評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。(2 時間) 第 11 回:設定クライアント(製品)②におけるミーティング(グループワーク)

事前学習:設定クライアントについての予備知識を用意しておく。(2時間) 事後学習:設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。(2時間) 第12回:制作実践(課題2/コンセプトライティング) 事前学習:設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。(2時間) 事後学習:設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。(2時間) 第13回:制作実践(課題2/キャッチコピー&ボディライティング) 事前学習:与えられた課題について、複数のキャッチ&ボディコピーと説明を用意しておく。(2時間) 事後学習:授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。(2時間) 第14回:制作実践(課題1～2についての総合企画書) 事前学習:課題1～2についてのプロセスを考慮しながら、企画骨子をまとめておく。(2時間) 事後学習:指定された企画シートに沿って内容をまとめる。(2時間) 第15回:課題1～2における企画プレゼンテーション制作準備(プレゼンテーション・発表) 事前学習:総括した企画を1枚のシートにまとめる。(2時間) 事後学習:担当教員とのディスカッション後、プレゼンテーションツールを作成しておく。(2時間) 第16回:最終試験 (※受講者数・状況により変更の場合あり)
成績評価方法
課題に対する活動評価・提出物・定期試験(60%) 平常点(40%) 平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。
成績評価基準
メディアを利用しての実践的制作プロセス(ライティング・コンセプトメイキング・企画)のスケジュール把握とデジタルツールへの効果的・効率的な情報運用。 コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができるか。 コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができるか。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック
1) 授業時の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 2) 事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 3) 小レポートに対するフィードバックについて ■ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 4) 定期試験(レポート試験を含む)に対するフィードバックについて ■ 定期試験時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:) 5) その他(自由記述:)に対するフィードバックについて □ 授業時 □ 仁大 e ラーニング □ メール □ その他(具体的に記述:)
実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)
・経歴 (クリエイティブディレクター) ・実務経験と授業内容との関連性 (クリエイティブディレクターとしての業務経験を有する教員が、各メディアにおけるコピーライティングの技法について演習を行う。)
テキスト、参考図書
使用しない
その他(受講上の注意)
他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。 原則としてコミュニケーション技法 I (2年前期)を履修したものに限る。
オフィスアワー
大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。